

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～H組
教科書	書Ⅱ（教育図書）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

- ・書Ⅰを基礎としながら、書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書の美に親しむ心を養う。
- ・書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の応用的な力を伸ばす。
- ・書の美しさを感じとる鑑賞の能力を更に伸ばすとともに、書の伝統と文化について考察する。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	漢字の書	書体の変遷	・漢字の書体の変遷について理解を深める。	ワークシート（関・鑑賞）
	5		篆書の古典臨書	・篆書の特徴を理解し、創作作品に生かす。 ・自分の名前を篆書で書く。	試書（構工） 作品（技） 観察（関） 作品（構工・技）
	6	隷書の古典臨書	隷書の古典臨書	・隷書の特徴を理解し、書体の変遷を考慮しながら鑑賞する。	ワークシート（関・鑑賞） 試書（構工） 作品（技） 観察（関）
	7		草書の古典の臨書	・草書の古典作品の臨書を通して書の多様な表現の可能性に触れる。	ワークシート（関・鑑賞） 試書（構工） 作品（技） 観察（関） 小テスト（関）
第2学期			漢字創作	・漢字を楷書・行書・草書・篆書・隷書の中から選んで好きな書体で漢字作品を制作する。	ワークシート（構工） 作品（技） 鑑賞シート（鑑） 観察（関）
第2学期	9	仮名の書	篆刻創作	・8分印を制作する。	ワークシート（構工） 作品（技） 観察（関）
	10		古筆臨書	・三色紙を臨書する。 散らし書きを鑑賞し、書表現の多様性について理解を深める。	ワークシート（鑑賞） 発表（関・鑑賞） 作品（技）
	11		仮名創作	・連綿、変体仮名、散らし書きの学習を生かして色紙大の作品を制作する。	ワークシート（構工） 観察（関） 作品（技） 小テスト（関）
	12	実用書	書き初め	・漢字を楷書・行書・草書・篆書・隷書の中から選んで好きな書体で漢字作品を制作する。	ワークシート（構工） 観察（関） 作品（技）

	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	漢字仮名交じりの書	創作	・今まで学習したことを生かして、自分の意図に基づいて表現する。	ワークシート（構工） 試書（関） 作品（技） 発表（鑑）
	2	実用書	硬筆	・日常の手書き文字について学習する。	作品（技） 観察（関）
	3				

3 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを甘受し、意図的に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

外面的にも内面的にも姿勢を正すこと、用具用材を大切にすること、準備と後片づけを迅速かつ丁寧に行うことを守ってください。
